



CIESF NEWS LETTER

2013 September 第17号

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言⑩】

教育の目的は、諸事実について知ることではなく、価値について知ることである。

—ウィリアム・ラルフ・イング

こんにちは。CIESFをご支援くださる皆さま、いつもありがとうございます。そして、この二ノスレーターを手にしてください。出会いに感謝します。2013年度も半分を消化します。後半戦もハリキツてまいります！

カンボジア写真展を開催しました

8月26日から29日までの4日間、日本アセアンセンターのアセアンホールをお借りして、CIESF主催の「カンボジア写真展」を開催いたしました。今年は昨年以上の来場者をお迎えすることができました。ありがとうございます。写真は、「国境なき教師団」のボランティア教師が撮影したものと、プノンペンにある日本語を教える職業訓練学校CIESF日本語センター・トレーニングセンター（CBTC）の学生や先生たちが撮影したものを展示しました。タイトルを、教育者の視点・学生の視線・日常の目線」とし、現地に行った日本人と、現地地で生まれ育つたカンボジア人、両方の目線でシャッターを切った作品を集めました。



↑カンボジアの子どもの純粋な瞳にしばらくじつとたずむ方がいらつしました



都市文化写真展
都子文写
市子文写
風景点及ぶ
景先物
風学校食
の校動物
舎・動・食
田景・動
↓風も80
などを展

写真展会場では、イベントとして26日の夕方、シンガソングライター宇野祐祐さんと、シンガーはたけりさんによるチャリテイライブも開催いたしました。宇野さんからは、「自身とカンボジアの関わりについてのトーク」の時間もありません。夏の夜におふたりの



の清々しい歌声と、カンボジアの写真がゴッポレーションした素敵な時間となりました。おふたりは、9月22日（日）に、東京高円寺にて自主企画のライブを開催します。詳しくは、ウチサイトにて「ワルツエターテイメント」と検索してください。もしくは、CIESFのFacebookページでも紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

また、8月28日は同会場で、帰国された「国境なき教師団」の先生たちによる「帰国報告会」と、次期派遣に向けた募集説明会を開催いたしました。北は東北から南は沖縄まで、大勢の方がご来場くださいました。



おかげりなさい。ありがとうございます！

国境なき教師団」のボランティア教師である教育アドバイザーとして、カンボジアで活動していた先生が3名、任期を終えて帰国しました。

●大久保博和 おおくぼひろかず先生

2010年9月、プレイベン中学校教員養成校で、物理を担当していました。赴任当初、教員養成校で活用されたいなかつた実験道具などを整理整頓するところからはじめ、教員や学生が、物理の実験を自分たちでできるよう、身近なものでの手作りの方法を、2年間かけて作りあげて指導してきました。

●寛八郎 かけひはちろう先生

2009年9月、プノンペン小学校教員養成校で理科を担当していました。身近なものでできる実験や観察の提案といった活動のほかにも、現地の教科書のチェックなど、これら活動するカンボジア教師たちへ与えた影響はとて大きなものです。八郎先生と元江先生は、「ご夫婦で3年間カンボジアで活動されました。

●寛元江 かけひもとこ先生

2009年9月、プノンペン小学校教員養成校で理科を担当していました。身近なものでできる実験や観察の提案といった活動のほかにも、現地の教科書のチェックなど、これら活動するカンボジア教師たちへ与えた影響はとて大きなものです。八郎先生と元江先生は、「ご夫婦で3年間カンボジアで活動されました。

国境なき教師団」は随時募集中です！

現在、説明会を終え、視察ツアーや国内での面接の準備をしております。募集活動は継続しますので、ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

国境なき教師団」とは、国境を越えて教育支援を行うCIESFのベテラン教師たちの組織です。国境なき教師団」に所属する教育アドバイザーは毎年大勢の教師の卵を育てているカンボジアの教員養成校の教官たちと一緒に教師レベル向上のための活動を行っています。

カンボジアのプノンペンで社会起業家ワークショップを開催しました

カンボジアにおける人材育成事業として、CIESFでは毎年、ビジネスモデルワークショップを開催し、起業家育成支援を行っております。同支援の一環として、2013年8月に、新たな試みである、社会起業家ワークショップを開催いたしました。



8月19日～23日の間、日本人とカンボジア人混成の4チームが起業プランを作成。共に活動したチームメイトはよい「仲間」になりました。あつという間の1週間でした

このワークショップは、日本の起業家の大学生と大学院生、カンボジアの大学生がチームを編成し、1週間に渡ってカンボジアで調査を行い、社会起業の可能性を探りました。実践経営学（COBLES）の手法を使って、実際に現地での起業を検討し、最終日にはチームごとに成果を発表しました。どのチームのプレゼンも大変素晴らしいものでした。今後も続けていきたいイベントのひとつとなりました。

Facebook

ウェブサイト上のニュースや、CIESFからのお知らせ、裏話などをお届けしています。もっと皆さんと交流したいと思っています。投稿やコメントなども残していただけたら嬉しいです。いただいたコメントに対するお返事100%を目指しています。

<http://www.facebook.com/ciesf>

「いいね！」をお願いします。

法人サポーター・個人サポーター募集中

CIESFの活動は、皆さまのご支援で成り立っています。法人と個人のサポーターを随時募集中です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。



<http://www.ciesf.org>

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地リポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトで絶賛公開中です！

JICAとCIESFは、理数科教育のレベル向上のため、定期的に連絡会を開催しています。その様子は、9月18日の現地リポートに掲載しています。

ぜひ読んでみてください♪

発行：公益財団法人CIESF 日本事務局
〒107-0062
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

編集後記

夏が終わってしまいました。昨年からは「CIESFの写真展が終わると夏が終わる」という感覚になっています。このレターを作成している頃は台風も去りすっかり秋めいた一日です。皆さんはこの夏何かチャレンジしたことはありますか？うちの父は、スイカを育てていますが、成長途上のスイカを木枠で囲み、四角いスイカを作るというチャレンジをしておりました。それに触発され、わたしも何かやるぞ！と勇んでいたのに何をするか決めかねているうちに9月になってしまいました。トホホ。さて、そのスイカ。結果がどうなったかという、上だけ膨らんで焼きたてイギリスパンみたいになったそうです。ザンネン。(YM)